

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪創薬研究所プロジェクト	階数	地上4階
建設地	大阪府箕面市彩都粟生北	構造	SRC造
用途地域	第2種住居地域・法22条地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年7月 予定	評価の実施日	2021年2月1日
敷地面積	32,242 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設株式会社
建築面積	6,361 m <sup>2</sup>	確認日	2021年2月1日
延床面積	26,139 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 3.4</b> ★★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 4.4</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 3.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 4.5</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 5.0</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 4.0</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 4.3</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 3.8</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の山並みに配慮した景観デザイン</li> <li>・維持更新を容易にするフレキシブルシステム</li> <li>・創造性を高める執務・実験エリア</li> <li>・セキュリティと開放性を両立させる共用エリア</li> </ul>	<p><b>その他</b></p>	
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>西日対策の林立フレームや日射遮蔽効果のテラスに包まれた快適空間 知的創造環境と省エネルギーを両立した働きやすい環境の創出</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>居室・実験・メカニカルの各エリアを明快にゾーニング 研究活動をつづけながら維持・更新が容易にできるISSとメカニカルバルコニー</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>緑の丘と地域種の森で構成された彩都と徳島をつなぐ外構計画 豊かな室内環境に寄与するシンボリックな中庭デザイン</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>さまざまな環境配慮技術を採用し一時消費エネルギーを39%削減</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>最適な構造スパン・設備ルートの合理化による資源使用量の最小化</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>アプローチエスカレータの地中化や駐車場の免振ピット利用による景観配慮</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0141

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)大阪創薬研究所プロジェクト						
	建設地	大阪府箕面市彩都粟生北						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						S	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						5	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				5.0	5	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				5.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				4.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.3	4	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0	○	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
	特に配慮した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の山並みに配慮した景観デザイン</li> <li>・維持更新を容易にするフレキシブルシステム</li> <li>・創造性を高める執務・実験エリア・セキュリティと開放性を両立させる共用エリア</li> </ul>						